

# 人と環境にやさしい交通まちづくり



## DATA

### ■主な連携先・メンバー

人と環境にやさしい交通をめざす協議会 / NPO法人エコエネルギーによる地域交通システム推進協会 / 国土交通省 / 環境省 / 新交通システム推進議員連盟

### ■活動地域

全国

### ■活動期間

2005年度～継続中

### ■活動資金

趣旨に賛同する団体・企業からの協賛金および助成金  
(環境再生保全機構「地球環境基金」(2008年～2011年)など)

## 活動の目的

全国の交通まちづくりに関心のある人のネットワークを形成し、問題意識の共有と政策提言を行う

## 連携にいたる経緯

関西大学赴任以前の宇都宮に対し、「エコエネルギーによる地域交通システム推進協会」からの依頼があり、連携が始まった。

## 活動内容

これまでの交通経済に関する研究内容を基礎に、交通まちづくりに向けた取り組みを講演、シンポジウム等で発信するとともに、そうした活動を通じて、交通まちづくりの各地の団体のネットワーク拡大に寄与するもの。

2019年3月には、「第9回人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」を前橋市で開催。関西大学の学生も聴講したほか、第6回(新潟市)と第7回(宇都宮市)の大会では、環境都市工学部や経済学部の学生が報告に参加して、学生の視点からの交通まちづくりに関する分析、提言も実施した。

2019年3月からは「地域公共交通の制度財源検討会」を開始し、講師を招いた連続セミナーを関西大学東京センターで実施している。



## 活動の成果

- 1 交通まちづくりの市民活動グループの立ち上げ・サポート(水戸市「スマートまちづくりフォーラム」ほか)
- 2 各地で開催したフォーラムや検討会を踏まえた国会の議連(新交通システム議員連盟)総会での政策提言
- 3 市民活動ネットワークを通じた政策アピール(「新型コロナウイルスによる交通崩壊を防ぐための緊急アピール」ほか)

## 今後の課題・目標

- 1 地域公共交通の活性化とコンパクトシティ戦略のための制度・財源の検討
- 2 交通政策基本法、地域公共交通活性化再生法の実践的な活用に向けた議論の喚起
- 3 交通まちづくり活動のネットワーク化

## 教員紹介



■経済学部 教授

宇都宮 浄人

Kiyohito Utsunomiya

日本銀行調査統計局物価統計課長などを経て2011年から関西大学へ赴任。専門は、経済統計学、交通経済学。経済学の考え方をベースに交通問題の研究を進めており、日本の交通政策やまちづくりについて各地で提言を行っている。本活動も含めた交通まちづくりの現状や課題は、2015年刊『地域再生の戦略-「交通まちづくり」というアプローチ』(ちくま新書)で紹介。